⑴　現金及び預金、⑵　未収金
　これらはすべて短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
⑶　未払金
　未払金は短期で決済されるため、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
⑷　リース債務
　時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格によっております。
　なお、リース債務に計上されるのは、ファイナンス・リース取引のみです。
　貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料　6,715,986円
　貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料　83,090円

2．平成22年３月31日末における引当外賞与見積額は45,984,866円であります。
3．平成22年３月31日末における退職手当の要支給総額の見込額は346,048,972円であります。
4．固定資産の減損の認識
　現在のところ減損を認識しておりません。

Ⅲ　損益計算書の注記事項
　ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、139,881円であり、当該影響額を除いた当期総利益は33,099,845円です。

Ⅳ　キャッシュ・フロー計算書の注記事項
　資金期末残高の貸借対照表科目別内訳
　現金及び預金　253,088,233円

Ⅴ　行政サービス実施コスト計算書の注記事項
　国有財産無償使用の機会費用は、近隣の地代や賃貸料等を参考にして計算しております。

Ⅵ　重要な債務負担行為
　重要な債務負担行為はございません。

Ⅶ　重要な後発事象
　重要な後発事象はございません。

Ⅷ　セグメント情報
　健康・栄養に関する研究業務一つであり、セグメントすべき情報はございません。

附属明細書

1　固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第86　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引当期末残高	摘要
							当期償却額		
有形固定資産（償却費損益内）	建物	0	0	0	0	0	0	0	
	構築物	0	0	0	0	0	0	0	
	車両運搬具	3,549,000	0	0	3,549,000	3,371,550	321,188	177,450	
	工具器具備品	582,457,008	（注１）11,987,640	0	594,444,648	520,212,963	33,063,729	74,231,685	
	計	586,006,008	11,987,640	0	597,993,648	523,584,513	33,384,917	74,409,135	
有形固定資産（償却費損益外）	建物	0	0	0	0	0	0	0	
	構築物	0	0	0	0	0	0	0	
	車両運搬具	0	0	0	0	0	0	0	
	工具器具備品	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	
リース資産	建物	0	0	0	0	0	0	0	
	構築物	0	0	0	0	0	0	0	
	車両運搬具	0	0	0	0	0	0	0	
	工具器具備品	73,683,200	0	0	73,683,200	67,124,306	7,407,984	6,558,894	
	計	73,683,200	0	0	73,683,200	67,124,306	7,407,984	6,558,894	
非償却資産	土地	0	0	0	0	0	0	0	